

成長する図書館サービス

- 2000 H.12 「鎌倉市図書館サービス計画」策定
- 2001 H.13 開館日の拡大実施(定期休館日月1日)
「おはなしボランティア養成講座」開始
- 2002 H.14 JR 鎌倉駅構内に返却ポスト設置
- 2003 H.15 鎌倉女子大学との協力開始
- 2004 H.16 インターネット予約受付開始
DVD、マンガの貸出開始
鎌倉市図書館資料管理基準策定
- 2005 H.17 ブックスタート開始
「障がいがある方のための無料郵送サービス」開始



6ヶ月検診時のブックスタート



一日図書館員になってみよう



貴重書探検&図書館見学会



いつでも、だれでも、どこでも利用できる市民のための図書館
わからないこと、困ったことがあれば何でも相談してください



学校への出前サービス
(おはなし会やブックトークなど)



新しい拡大読書機「よむべえ」が導入されました



高校生、本屋さん、図書館のジョイント企画
ポップ「おすすめの本」を読んで投票しよう!



中学生の職業体験学習

- 2007 H.19 JR大船駅に返却ポスト設置
 オンラインデータベース導入
 デイジーの郵送貸出開始
 百周年記念事業準備委員会発会
- 2008 H.20 中央図書館多目的エレベーターの設置
 「よむべえ」導入(中央図書館)
 市民協働事業開始
 鎌倉市子ども読書活動推進計画策定
- 2009 H.21 百周年記念事業実行委員会発会
- 2011 H.23 図書館開館100周年



近代史資料室で編さんした報告集の数々
 近代史資料室とは、
 1977(昭和 52)年に開設され、幕末から
 明治・大正・昭和にわたる近代鎌倉の調
 査や資料の収集をしています。
 近世地方文書や古写真の収集・整理の
 ほか聞き取り調査等を実施し情報を収集
 しています。



2008(平成20)年、市民協働事業による
 図書まつり「ファンタスティック☆ライブラリー」開始
 市民協働事業とは、
 図書館の振興を目的に、企画立案から報
 告書作成まで、図書館と市民団体が連携
 して取り組む活動です。

鎌倉図書館百年の歴史を振り返って

鎌倉の図書館は1911(明治44)年7月、鎌倉小学校(現第一小学校)の敷地内に誕生しました。日露戦争後の苦しい町財政事情のなか、東郷慎十郎氏などの篤志家の寄付があって実現したことです。1923(大正12)年の関東大震災で建物は全壊しましたが、小学校の講堂の一角を借りて活動は継続されました。

1936(昭和11)年、実業家間島弟彦氏の遺志に基づく多額の寄付金を得て御成小学校敷地内に新たに図書館がつくられ、このときはじめて専任の職員が配置されるとともに、年間通しての開館となりました。

戦争末期の1944(昭和19)年3月に軍に接收されて閉館し、戦後、1946(昭和21)年6月に再開しました。1949(昭和24)年に館外貸出を開始、1951(昭和26)年に利用が無料化され、昭和40年代には開架式の導入や予約サービスを開始するなどのサービス改善を進めます。

1974(昭和49)年に現中央図書館が建設され、その後、4つの地域図書館も順次設置されました。さらに、コンピュータの導入、インターネットからの予約受付などによって、使いやすい図書館として市民に親しまれています。

2011(平成23)年7月、神奈川県内の図書館で初めて百周年を迎えることになりました。振り返ると、鎌倉の図書館の創設・発展には節目節目に市民の大きな支えがあったことがわかります。そして、いまや次の百年に向けての飛躍が求められています。鎌倉らしく市民の力を借りながら、さらなる改革と充実策が必要であると実感します。

(百周年記念事業実行委員会委員長 和田安弘)